

佐野市の顔から栃木県の顔へ



道の駅どまんなかたぬま

道の駅どまんなかたぬまが2月、栃木県における優れた経営戦略を持ち、顧客らの満足度が高い企業に贈られる「県経営品質賞」で本年度の優良賞

に選ばれました。この賞では、お客様へのサービス、従業員の働く環境をはじめとした、何十項目もの経営的な審査基準から評価を得ることが必要になってきます。日々お客様の要望に耳を傾け、更に東京などで行われる数々の勉強会に足を運ぶなどの努力を重ねた結果、3年間の歳月をかけて受賞するにいたりました。

また、きれいなトイレを増やそうと県が進めている「ピカピカとちぎ大作戦」においても、どまんなかたぬまのトイレが基準を満たして「とちぎハートフルトイレ」に認証されました。市の顔から県の顔へ。道の駅どまんなかたぬまは、日々成長し続けています。(市民記者 飯田 瞬)

元気な森づくり体験活動

3月16日、根古屋森林公園周辺で「とちぎの元気な森づくり体験活動」が行われました。

これは、私たちの身近な森林が、今どのような状態にあり、今後どのようにする必要があるので理解を深めてもらおうと、県や市が主催したものです。



間伐作業体験

この日は、子どもから大人まで約80人が参加し、林内に入り、間伐作業(木や森の成長のため、不必要な樹木を伐採する)を体験しました。慣れない作業に戸惑いながらも、苦勞して切った木が倒れるとその迫りに圧倒されていました。



慣れない作業に悪戦苦闘!?

また、炭焼きの見学や、しいたけ原木の種駒打ち作業なども行われ、参加者は心地よい汗を流していました。

田沼初午祭に多くの人出



たくさんの人でにぎわった初午祭

春の訪れを告げる、恒例の「田沼初午祭」が7~9日、一瓶塚稻荷神社周辺で開催されました。今年は天気にも恵まれ、各日もたくさんの人でにぎわいました。

市長からのメッセージ



春を告げる桜の開花の話題があちこちから聞こえてきます。4月は入学式、入社式などが行われ、希望に胸を膨らませ、新たなスタートを切る時期です。

佐野市も合併し4年目を迎えました。先月は、市議会において、平成20年度予算、約417億円(一般会計)を議決いただきました。

昨今の厳しい財政状況のなかではありますが、安全・安心のまちづくりの推進、道路・公共交通網の整備、地域医療体制の充実、子育て支援機能の充実、観光戦略の展開、特色ある教育と心の教育の推進などを重点施策としました。

佐野市の将来像「育み支え合うひとびと水と緑と万葉の地に広がる交流拠点都市」の実現のため、市民の皆さんと一緒にまちづくりを進めましょう。

先月16日に、東京栃木県人会の方約40名が、「ふるさと栃木・バスツアー」で佐野市を訪れました。私も歓迎を込めお出迎えし、佐野市のPRもさせていただきました。帰りのバスからは笑顔が見られ、満足そうに手を振っていました。心のこもった「おもてなし」の気持ちが大切かなと思いました。

岡部正英



蟻地獄は 相撲を取る虫だった

ウスバカゲロウの幼虫を蟻地獄^{ありじごく}といいます。神社やお寺の軒下の乾いた土に、すりばち状の穴を掘って隠れ、すべり落ちてくる蟻などを捕食して生活しています。この蟻地獄を佐野方言で、トッコバッコ・チチケッポ・チッポケッポなどと呼んでいます。佐野地域（越前周辺は湿地帯であったため蟻地獄の方言はほとんどない）と田沼地域の北部はトッコバッコ、田沼地域の南部はチチケッポ、葛生地域はチッポケッポといいます。佐野に広く分布するトッコバッコについて述べてみましょう。日本の国技といえば相撲ですが、江戸時代（約350年前）の相撲は、すぐに組み合うことがほとんどありませんでした。睨み合いが多く、相手の隙をみて、引っ張ったり、蹴ったり、突き飛ばしたりする荒々しいものでした。蟻地獄2匹^{にら}を合わせると、力士のように、しばらく睨み合いをしてから、はげしく組み合います。それを見ていた見物人（子どもたち）は、早く組み合えとばかり「トッコバッコ、トッコバッコ」と行司のように掛け声をかけました。トッコは早く来いという意味の「疾く来」、バッコも早く来いという意味で、「早く来」が変化したものです。佐野では「早く来い」を方言でハッコといいますがこれと同じです。お互いに早く組み合って、力を競い合え、といいながら遊んでいた当時の子どもたちの姿が、目に浮かんでくるようですね。
（市民記者 森下喜一）

宇宙飛行士と交流

3月1日、こどもの国で「ハロー・ヒューストン!! 山崎直子宇宙飛行士と話そう!!」と銘打ったイベントが開催されました。

これは、アメリカテキサス州ヒューストンにいる宇宙飛行士と、テレビ会議システムを利用して交流するもので、全国で3番目の開催となります。

この日は、宇宙少年団佐野分団、館林分団の約100人が参加し、山崎直子宇宙飛行士と交流しました。子どもたちからの「宇宙での暮らし方は?」「訓練で一番大変なものは?」などの質問に山崎さんは一つひとつ丁寧に答えていました。



さまざまな質問が飛び出しました



山崎宇宙飛行士

最後に「これからは宇宙での活躍の場が広がります。将来一緒に宇宙で働ける日を楽しみにしています」とメッセージを送りました。

唐沢山で一斉清掃



栃本町側の作業の様子

3月9日、唐沢山の県道唐沢山公園線沿いに不法投棄されたゴミの一斉清掃が行われました。

地元町会の呼びかけによる初めての大規模な清掃が行われたこの日は、栃本上・下町会、富士町上町会、唐沢山神社、県・市の関係機関など約60人が参加しました。

道路脇のがけ下から、タイヤ、自転車、ストーブ、布団などが次々と拾い上げられ、最終的に約50ト



ンのゴミ 富士町側の作業の様子が集まりました。

これから行楽のシーズンを迎えますが、みなさんもゴミの不法投棄は絶対にやめましょう!



集められたゴミ